

“みんなごと”のまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」

市民協働推進コーディネーター報告

まちづくり・お宝バンクHP

コーディネーター：日高由紀

Vol.10
平成30年
10月

左京朝カフェ発！平和への願いをこめたランニングイベント「KYOTOフェスティバル・オブ・ピース2018」開催しました

お宝No.274 ピースラン京都事務局

ピースラン京都事務局が企画運営をするランニングイベント「KYOTOフェスティバル・オブ・ピース2018」の元となる「ピースラン」は1987年にニューヨークで始まりました。これまでに各国有志ランナーによってトーチが150か国以上につながれ、ピーストーチを持ったボランティアランナーと一緒に各地をたすきリレー方式で走り、交流イベントを行なうなどして国・文化を超えた平和と友情への願いを発信してきました。

昨年度、ピースラン京都事務局の砂押さんが「[左京朝カフェ](#)」でこの活動紹介をした際に、「せっかく各国のランナーが集うなら、1日だけのランニングイベントで終わらせるのではなく、地域の人たちと交流できる数日間のイベントにしてはどうか」とのアイデアを参加者からいただいたそうです。そのアイデアを実現すべく、2018年9月20日～25日の6日間にわたるイベント「KYOTO フェスティバル・オブ・ピース2018」を開催することになりました。

ピースラン京都事務局が数日間にわたるイベントの企画運営をするのは初めての挑戦とことで、ランニング関連の活動をされている団体の方やまちづくり・お宝バンク提案者など、多くの方々と繋がり、たくさんのご協力とご支援をいただきました。ピースランに参加した各国ランナーと、京都市内で国際交流をした子供たちの笑顔あふれる写真や映像からは、充実したイベントの様子が伝わってきます。ご協力いただきました関係者のみなさま、どうもありがとうございました。

【KYOTOフェスティバル・オブ・ピース2018 開催日程】

- ・9/20 出発セレモニー@左京区役所。御室ライオンズクラブ提供「平和の絵皿」づくり@京都光華小学校1～3年生
- ・9/21 神護寺～高山寺～高雄小学校～御室小学校にて、ランニング+国際交流イベント
- ・9/22 京都サンガ ホームゲームでブース出展+トラック・ラン+活動紹介
- ・9/23 東山区～左京区ファン・ラン「バディ・ワーク」参加@岡崎公園
- ・9/24 「みんなのスポーツフェスタ」@西京極グラウンド。チェコのアスリート、アベジャリさんを迎えてトークイベント@Impact Hub KYOTO
- ・9/25 京都光華小学校にて国際交流。閉会セレモニー@光華小学校。光華ランニングクラブ社会人メンバーとナイト・ラン

京都市内での活動の様子は[こちら](#)もご覧ください。



左京区役所での出発セレモニー



左京区役所ロビーにて、平和記念日とピースランのメッセージ展を行ないました。



平和への願いを込めて、ピース・トーチをみんなでまわしました。



京都サンガF.C. ホームゲームでも活動紹介をしました！



閉会セレモニーには、門川大作京都市長、文化庁地域文化創生本部本田一泰上席調査役、京都御室ライオンズクラブ中山博善会長 他から心のごちまつスピーチをいただきました。



光華小学校での閉会セレモニーにて、子供たちが絵付けをした平和の絵皿の贈呈。絵皿はバラオへ届けられました。

京都光華中学校/高等学校吹奏楽部のみなさんが、素敵な音楽とダンスを披露してくださいました。

多くのゲストがお越しになり、みなさんの感謝の言葉とエールの交換が行なわれました。



「平和の絵皿」と「団扇」を受け取ったバラオの子供たち。

“音楽”をテーマにしたまちづくり・お宝バンク提案者同士の特別編成グループが実現！

お宝No.271 ピア・パレード おぐらひろみ

お宝No.227 SUKIDARAKE MAFIA

平成30年10月20日に開催された「ほほえみ広場2018」（主催 京都市）のステージに、SUKIDARAKE MAFIAとピア・パレードおぐらひろみさんの特別編成グループが出演しました。

「いろんな世代が親しめるたのしい音楽」「ヘルプマークの普及」というそれぞれの団体の強みを活かして協働申請することで、見事出演枠を獲得しました。

当日はまず、おぐらさんがヘルプマークの紹介をしました。実際にご自身が使用されているヘルプマークを掲げながら、「ヘルプマークを見かけたら、『何かできることはないですか』と声を掛けてもらえると嬉しい。」と、ヘルプマークを持っている人への配慮を呼びかけました。その後、「上を向いて歩こう」を手話ダンス付きで披露し、SUKIDARAKE MAFIAのオリジナル曲も披露しました。お天気にも恵まれ、SUKIDARAKE MAFIAとおぐらさんの奏でる音楽が青空に響き渡り、一緒に踊ったり手話をしてくださる観客もあり、とてもあたたかい雰囲気ステージとなりました。



「京都ニュース」フィルム保存・活用のためにできることから

お宝No.234 一社 京都映画芸術文化研究所（おもちゃ映画ミュージアム）

昨年度あたためていたアイデアが、「京都国際映画祭2018」で実現しました！

平成30年10月13日夜に開催された「笑いと言葉で魅せるサイレントコンビ芸/笑いで蘇る『京都ニュース』」第2部で、お笑い芸人による活弁と共に、京都ニュースを上映しました。

第1部はサイレント映画「弥次喜多 尊王の巻」「ローレル&ハーディのリバティ」の活弁上映。第2部はゲストの片岡一郎氏（活動写真弁士）、立川直樹氏（音楽プロデューサー、映画音楽監督）が選んだ「面白そうな」昭和30年代の「京都ニュース」に、芸人さんが自由に創作した活弁をつけ、さらに面白く変化させてしまおうという様式でした。

はじめに通常のオリジナル・京都ニュース映像を観た後に、音声を消した同じ映像に芸人さんが創作活弁をつけ、それぞれのテイストに合わせた即興生演奏のピアノとパーカッションがさらに雰囲気を盛り上げます。

最初の登壇では、京都ニュース 昭和31年（1956年）「京都府警 暴力追放決起大会」のニュース映像が、お笑い芸人「さや香」石井氏による活弁で「NSC（吉本総合芸能学院）勧誘の実態」という内容につくり変えられ、会場は笑いに包まれました。

昨年の上映の際は、60年前の京都ニュース上映を懐かしんで来場くださった方が多かったのですが、今回は“お笑い”という新たな要素を取り入れた挑戦により、若い世代の観客が増え、新たな層にも京都ニュースの魅力を伝えることができ、コンテンツ活用の更なる可能性も見つけられたのではないのでしょうか。

【開催レポートはこちら】

「笑いと言葉で魅せるサイレントコンビ芸/笑いで蘇る『京都ニュース』produce by 立川直樹、片岡一郎」

ゲスト：立川直樹氏（音楽プロデューサー、映画音楽監督）

音楽：上屋安由美氏、鳥飼よう氏

出演：片岡一郎氏（活動写真弁士）、中山功太氏、学天即、さや香、祇園、堀川絵美氏（よしもとクリエイティブ・エージェンシー）



開催前には今年も行列ができ、観客の期待の高さが伺えました。



芸人さんにつつまれても笑顔で同じプロデューサーの立川氏が「芸人さんの底力を感じた！」と絶賛し、次々に繰り出されるおもしろ「京都ニュース」活弁に会場も沸きました。